

For immediate release

Contact:

成松恭多

+81 (0)3 4530 5623
kyota.narimatsu@barclays.com

河村亜希子

+81 (0)3 4530 5631
akiko.kawamura@barclays.com

バークレイズ、イングランド銀行のストレステストに合格

【2014年12月17日、東京】バークレイズは本日(ロンドン時間 2014年12月16日)、イングランド銀行(BoE)から発表されたストレステストに関して短い声明文を発表しました。BoEによる悪化シナリオモデルの影響の評価に基づく、バークレイズの資本は、ブルーデンス規制機構(PRA)移行ベースの普通株式 Tier1(CET1)資本比率の7.0%(経営施策の考慮前)となり、BoEの基準を引き続き上回る状態になっています。バークレイズの CET1 資本比率がテスト期間中に7%を下回ったことは一度もなく、最低基準である4.5%を大幅に上回ってきました。

ストレステストのモデル分析の起点となった2013年12月31日時点で、バークレイズの PRA 移行ベースの CET1 資本比率は9.1%でした。同比率は2014年9月30日時点で10.0%に上昇しました。

バークレイズは引き続き完全施行ベースの CET1 資本比率を2016年末までに11%超にすることを目指しています。

2014年の年次決算は2015年3月3日に発表する予定です。

BoEのストレステストは [BoEのウェブサイト](#) で閲覧することができます。

##

注記

BoEによる悪化シナリオは、BoEが決めた前提に基づき2013年12月31日を起点とし、36ヵ月期間ストレスをかけ、バークレイズの連結貸借対照表および損益計算書の見通しを予測したものです。

また、BoEの発表文では、バークレイズが、想定されているような悪化シナリオが進展する際に実行されるであろう経営施策を実施した後、CET1比率が低いポイントである7.5%と計算される、より高度なモデルも公表しています。

本リリースは、バークレイズが2014年8月31日にロンドンで発表した英文リリース”Barclays PLC – Barclays above threshold in BoE stress test”を翻訳したものです。

バークレイズについて

バークレイズは、個人・法人向け銀行業務、クレジットカード、投資銀行業務、資産管理業務などさまざまな金融サービスを欧州、米州、アフリカ、アジアといった地域で展開している国際的な金融機関です。バークレイズは、人々が目標を実現できるよう、正しい方法で手助けをすることを目標としています。300年以上の歴史と銀行としての専門性を備えたバークレイズは、50カ国以上で約135,000人もの従業員を擁しています。世界中のお客様に、為替、融資、投資、資産管理などのサービスを提供しています。より詳細な情報は、グループのウェブサイト www.barclays.com をご参照ください。